

農山漁村振興への貢献活動に係る取組証明書

実施者

カンダまちおこし株式会社、株式会社太平製作所

取組概要

取組名 : 「太平の森 白川」企業の森づくりによる森林整備・皆伐再造林の促進
実施地域 : 岐阜県白川村
アクティビティ種別 : ②地域の自然資源の維持・向上
取組形態 : 直接的貢献 間接的貢献
取組実施日・期間 : 2025年6月3日～2025年6月5日

取組詳細

取組の目的・解決したい課題
白川村は森林率 95%だが、担い手不足、森林境界未整備、人工林の高齢化、病虫害の拡大などによって森林の公益的機能や景観が損なわれつつある。また、人工林の脆弱化は林業の再生可能性も下げている。
そこで、伐採跡地に広葉樹を植え、人と生物が共存する森へ転換することで、自然資本の再生と地域林業の持続性向上を図る。また、この取組に企業全従業員が参加する形で ESG 経営を実践し、地域林業に新たな担い手や価値循環を生み出す。

インプット
✓ 太平製作所・太平ハウジング従業員：約 150 名（3 日間で交代参加）
※その他関係者の参加もあり
✓ 広葉樹苗木（約 1,000 本）、植樹工具、式典資材等の準備
✓ 技術・知見・ネットワーク：広葉樹転換・森づくりに関する専門家による知見の提供、岐阜県の「企業の森」制度に基づく協定スキーム、白川村・カンダまちおこし・岐阜県林政部との協働ネットワーク

アクティビティ
✓ 太平製作所社員による森林整備（全従業員 150 名参加、3 日間、広葉樹 1,000 本の植林）
✓ 地域との交流（植樹式での記念品（「太平の森 白川」オリジナルラベルの日本酒）の配布、村民の植樹作業の参加、懇親会の実施）

今後の展望
太平製作所が白川村において林業子会社の設立を準備中であり、森林循環を担うアクターが地域に加わることで林業の事業化・バリューチェーンの拡大が期待される。上記の林業子会社は、①「伐る事業」（スギ・ヒノキの原木販売）、②「植える・育てる事業」（観光と接続した植林・育林）、③「資源循環型複合事業」（菌床栽培・育苗）を目指しており、2028 年 12 月を目途に、持続的な事業実施体制を構築する。